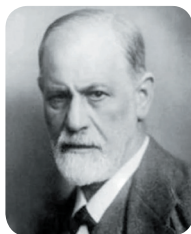


ロシア語にして九条を送りたい (中川晴海)

今年の鶴彬川柳大賞作品



世紀の戦争論 フロイトのこぼ

私の経験に照らしてみると、「教養のない人」よりも「知識人」と言われる人たちのほうが、暗示にかかりやすいと言えます。「知識人」こそ大衆操作による暗示にかかり、致命的な行動に走りやすいのです。なぜでしょうか？ 彼らは現実を、生の現実を、自分の目と耳で捉えないからです。紙の上の文字、それを頼りに複雑に練り上げられた現実を安直に捉えようとするのです。

アインシュタインとフロイトの往復書簡より

国葬強行で支持率が急落し歴史に刻まれた。桜を見る会で詐欺師にも頭を下げた元総理を持ち上げた国葬。戦後 77 年。「あの刻」見た地獄がロシアによって再現されそうな恐怖。(周)

皆んで選んだ
今月の秀句

安倍国葬負の歴史が刻まれる
詐欺師にも頭を下げて票集め
ヒロシマのあの目あの刻見た地獄

白眞弓
寺内撤乗
岩佐ダン吉

来月例会案内

10月例会
投稿締切
課題「残」
自由吟
自選句、自解筆もよろしく。

10月27日(木)
24日(月)
3句以内
5句以内

◆ 目次 ◆

川柳互選・課題吟「刻」	2
自由吟	3
推薦句の短評	5
おたより	8
「三味線草」×モ	8
亀公子の《川柳ひと言》	9
竹久夢二「東京災難通信」⑫	10
NHKの取材に答えて	11
「完全版時事川柳」を読む	12
「時事川柳」もくじ	14
鶴彬川柳大賞紹介	15
編集後記を兼ねて	16

9月の 川柳互選

◆ 点の付け方

推薦句◎…2点、準推薦句○…1点
◎3句以内。○全体の半数以内。

◆ 課題吟「刻」(互選)

一人 3句以内吐

(投句13人／16人の互選)

2	刻は今テトリス崩すチャンスかな	一角
2	羊さん刻を過ぎたら忘れてね	高坊
2	ひとときが崩れる日本の国葬問題	ふさ子
2	生活に経済制裁苛刻です	宏助
3	あれやこれ刻が経っても追及し	高坊
3	刻々とデフォルト迫る円国債	撤棄
3	寸刻を争い逃げるロシア人	撤棄
4	万のものの滅びに向かい刻(きぎ)んでく白眞弓	尉
4	寸刻を惜しみ川柳字(ご)べし	尉
4	閉める刻忘れてしまう俺も歳	一角

5 ₁	刻限に川柳ひねる怠け者	未知子
6	ニユース映像で酷な記憶が刻まれる	撤棄
6 ₁	勝共の刻印にただそれだけに	ダン吉
7	刻々とロシアの終り見え隠れ	立東爺
7 ₁	遅刻して迎える孫に怒られて	高坊
7 ₁	ひまわりの迷路深刻抜けられぬ	宏助
7 ₂	刻刻と公民の凋落目にみえる	一角
8	ありがとうあの一声は刻みたい	ダン吉
8	残百秒 終末時計が刻む音	立東爺
8 ₁	生涯の苦勞を刻む額の皺	尉
8 ₁	被曝地の刻印とれぬ牛や豚	亀公子
8 ₁	プーチンを丑の刻詣で鎮めたい	宏助
9	一刻も早く銃声止む夜に	亀公子
9 ₁	戦争を歴史に刻む人類史	尊柳
9 ₁	骨も肉も切り刻まれて非国民	亀公子
9 ₂	その刻(とき)は岸田の地位も消えるとき	白眞弓
10 ₁	鶴彬戦争反対刻限まで	未知子

11₁ 歴史的文化遗产へ刻む句碑

尊柳

11₂ 刻々と迫り来る老い二人旅

未知子

13 刻々と危険水位に迫る国

尉

13₂ 時々刻々地球が沈む温暖化

尊柳

14₃ 子どもに刻まれていく戦争絵

立東爺

16₅ 安倍国葬負の歴史が刻まれる

白眞弓

19₆ ヒロシマのあの日あの刻見た地獄

ダン吉

◆自由吟（互選）

一人5句以内吐

（投句13人／16人の互選）

首相の座禅議した奴出席と

白眞弓

1 弔問にきただけなのに外交か

尉

1 国葬反対五〇%を超えている

尊柳

1 安穩があつて平和の続く日本

ふさ子

1 免疫力上げてワクチン打つことなし

高坊

1 国葬に安倍さんきつと恥ずかしい

ダン吉

◆点数表記について

点数右下の小さい数字は、2点句◎に推した方の数です。

2 エセ宗教にかき回されているのは自民だけ？ ふさ子

2 値上げですインフレさえもいわないが 一角

2 辛みなき一味七味は有り得ない 尉

2 北海道空の広さに救われる 未知子

2 子の刻のコンビニで買うにぎり飯 尉

3 国陪に治安維持法説明し 一角

3 安倍国葬世界に示せ不人気を 白眞弓

3 すっぱんの如く市政を追及し 高坊

3 統一教会と自民の癒着目に余る 尊柳

3 持つてくる金はなんでも受け取る国会人 ふさ子

4 国葬は不要私は言うておく ダン吉

4 狂犬の毒牙にかかる下層民 亀公子

4₁ 街宣で言う事沢山ねと励まされ 北の山

4	角川の主は金受け取つていてすまし顔	ふさ子	7	カーナビが自分の道を行きなさい	ダン吉
4	安倍国葬民の怒りも物ともせず	未知子	7	神よりも安倍頼もしきカルト教	撤棄
4	国葬を日川協に吐いて見せ	一角	7	日本の満州そのままウクライナ	立東爺
4	宗教と誠意は別と都合よい思想	ふさ子	7 ¹	今の世を子等に残すな残酷だ	未知子
5	国葬を政権維持に利用する	尊柳	7 ²	協会に食わせて食われ日本捨て	一角
5	戦争は言論封じ三猿(みさる)にし	宏助	8	開発の波が消し去る蟲の声	亀公子
5	質問に棒読み答弁私流	北の山	8 ²	良民を死に追い込んで何が国葬	北の山
5	統一教会の広告塔へ元首相	尊柳	9 ²	国葬の手本を見せたエリザベス	宏助
5	値上げせず中身が細る物価高	宏助	9 ²	救い求め詐欺師に献金する貧者	撤棄
5	ロシア発世界の秩序揺らぎだす	未知子	9 ²	青春歌ロシア民謡歌えない	立東爺
5	朝日川柳へ国葬諷刺の先駆性	尊柳	9 ²	わが弾はまだ血を見ない紙礫	亀公子
5 ¹	戦争は不治の病か文殊様	亀公子	10 ¹	反戦を唱えて肉の盾にされ	撤棄
6	回り道ほんとの友と巡り合う	ダン吉	10 ¹	組織票裏にカルトの思いあり	高坊
6	好きにしろカーナビに匙投げられる	ダン吉	11 ¹	岸田総理何処にあるのか聞く力	未知子
6	マイノリティ認めぬカルトの皮算用	高坊	11 ²	青い空小麦畑に砲の列	立東爺
6	ウクライナガス止められて寒かろう	一角	11 ²	政界の三途の川も金次第	尉
6	自衛隊大砲出番安倍国葬	白眞弓	12 ¹	国葬の金で助かる命あり	高坊

12¹ 耳栓をして暴走の酷葬儀

亀公子

12² 核のシミ青き地球の「こ」かしこ

尉

12³ 防衛費盾から矛へ限りなく

宏助

13¹ 嘘つきが世界のニュース総なめし

撤乗

13² 宗教に政治がもたれ国づくり

宏助

◎◎推薦句への短評◎◎

◆課題「刻」

戦争を歴史に刻む人類史 尊柳

●歴史の本見ると、戦争ばかり（白眞弓）

プーチンを丑の刻詣で鎮めたい 宏助

●「丑の刻詣り」句としてはおもしろいので点をいれましたが、あれは女が女を呪うものだと言丸の宮司さんから聴いてます（一角）

（※）猿丸とは猿丸神社（金沢市笠舞3）のことで

13² 涙目に十字が並ぶウクライナ

立東爺

13³ 日本史をなぞるロシアのウクライナ

立東爺

13⁴ 国葬No こんな人たちが溢れ出す

白眞弓

14² 詐欺師にも頭を下げて票集め

撤乗

昔から「丑の刻参（詣り）」の神社で有名（編集子）
ヒロシマのあの日あの刻見た地獄 ダン吉

●永遠に語り継がれる（尉）

●8月になると、ヒロシマナガサキの原爆の映像が流れる。そのたびに、私達は平和への思いを新たにするが、逆行の動きも増えて来た。防衛費の増大がそのいい例だ（亀公子）

子どもらに刻まれていく戦争絵 立東爺

●プーチンの始めた戦争は今、SNSでもリアルタイムにその残酷な様子が見られる。子供たちが心配だ。私も昔、「ピカソのゲルニカ」を実際に見て衝撃を受けた一人である（亀公子）

安倍国葬負の歴史が刻まれる 白眞弓

● 安倍国葬は恥辱の政治史として永久に記憶されることであろう(尊柳)

時々刻々地球が沈む温暖化 尊柳

● 北極・南極の氷が溶け出し島国が海面に沈んでいく。地球の危機だ(立東爺)

遅刻して迎える孫に怒られて 高坊

● お孫さんとの光景が目につかぶほほえましい句です(北の山)

その刻(とき)は岸田の地位も消えるとき 白眞弓

● その時期は間近い(尉)

被曝地の刻印とれぬ牛や豚 亀公子

● 果てを知らながら(尉)

※この句の元は「被曝地」とあり、白眞弓さんから、質問がありました。「被曝地は、どこのことでしょうか? 福島や原発関連なら被曝ですし、広島長崎なのか、それと被曝はちよつと…。他で被曝はビキ二などのあたりくらいかな? 誤変換?」

亀公子さんに尋ねました。「被曝ではなく被曝です。フクシマのことです。絶望して自殺した牛を飼つてい

た人のことを思つて句にしたものです。」(編集子)

◆自由句 ……………

すつぽんの如く市政を追及し 高坊

● 「し」でなくて「す」だと強くなつてもっといいと思つた(白眞弓)

開発の波が消し去る蟲の声 亀公子

● 「消し去る」つて今度使つてみたい(白眞弓)

防衛費盾から矛へ限りなく 宏助

● 盾と矛で十二分に表せるのです(白眞弓)

● 天井知らず(尉)

わが弾はまだ血を見ない紙礫 亀公子

● いつまでもそうであつてほしい(白眞弓)

戦争は不治の病か文殊様 亀公子

● 戦争は世界の各地に起きている事を、不治の病に例えている。知恵の文殊菩薩様「国連」が機能を發揮してほしい(宏助)

良民を死に追い込んで何が国葬 北の山

● 国葬をするお金や時間を森友問題や桜を見

る会、安倍元首相と旧統一教会との関係の解明に費やしてほしかった（喜之）

●「良民」の表現、他にないですかね（ダン吉）
組織票裏にカルトの思いあり 高坊

●旧統一教会と自民党は人間観、世界観の価値観が似ている。それも信者たちが選挙を応援する動機になっているのではないだろうか（喜之）

神よりも安倍頼もしきカルト教 撤乗

●神をも畏れぬ所業（尉）

耳栓をして暴走の酷葬儀 亀公子

●耳を閉ざして断行（尉）

青春歌口シア民謡歌えない 立東爺

●若い時はよくロシア民謡を歌ったものだった。新宿の「歌ごえ喫茶」のあの熱い日々は何だったのだろう（亀公子）

国葬Noこんな人たち溢れ出す 白眞弓

●銃弾に倒れた前安倍首相が街頭演説でヤジる人達を指して「こんな人たちに負けるわけにはいかない」と言ったのを皮肉った句。国葬に値しない人を国葬にする現政権への痛烈な句に

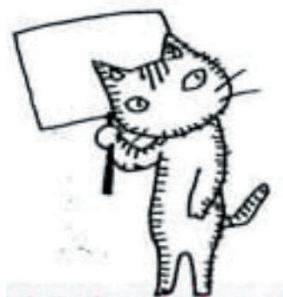
なっている（亀公子）

国葬の手本を見せたエリザベス 宏助

●王室や皇室の存在は近代民主主義と相反する制度だが、最低限国葬をやるならそのルールが必要。「理屈じゃねえんだよ！」と麻生某から電話が来て即決で決めたと伝わっている。閣議決定だけでやるのは違法だ（立東爺）

◆【総評】

声出して拝読していてもリズムの悪い句が課題、自由句とも2割近くありました。その大半が中8語などの破調句でした。ぜひ推敲を重ね、耳にもやさしい句に仕上げたいものです。（ダン吉）



おたより

◆ 岩佐ダン吉さん（大阪）より

国賠同盟大阪府本部の9/25、26のバスツアー（12名参加）には貴会から本誌や各種の鶴彬資料を送っていただきありがとうございました。コロナ禍もあり参加者数は少なかったのですが、道中は「鶴彬」の軌跡の鑑賞、私の虫喰い川柳、現地では一角さんが卯辰山の句碑の説明……。楽しい旅でした。

◆ 平野亭之さんより

反対の声を無視してついに国葬が行われてしまった。国民の声に耳をかさないという点で、安倍氏の態度と現首相の態度はそっくりだ。

それから統一教会との関わりを指摘されると「ゴマかしたり、ウソを言ったりする自民党の政治家たちの態度は、旧統一教会やオウム真理教の幹部たちの態度とそっくりだ。こういう人たちが日本の政治をしきっている以上、日本は決していい国にはならないだろう。

メモ：鶴彬を特高警察に密告した「三味線草」森鷄牛子^{けいぎゅうし}

- 1 大阪の川柳誌「三味線草」。編集発行人は森鷄牛子。昭和十二年九月号から十一月号にかけて鶴彬の川柳とそれを掲載する「川柳人」を攻撃した。
 - 2 九月号「こういう時局にあつてから、こういう反戦の詩を詠むことは一体何事だ。時局に処する日本人としての愛国の至情に欠くるものなきやを憂う」。
 - 3 十月号「現下、国民精神総動員、遵法週間等の叫ばれる時、吾等の柳壇を暗くするこれらの徒に対しては、更に更に監視を要するのである」。
 - 4 十一月号「依然として反省せざる場合は、我らは別的手段によって善処したいと思う」
- 3 森鷄牛子の密告によって十二月三日早朝、木村通信社に出勤した鶴彬は特高警察に検挙された。

川柳連作「洗脳の水」

遠田 亀公子

洗脳の水に産湯の二世三世

洗脳の水で剥がれる金メッキ

洗脳の水に政治家下痢三昧

洗脳の水に溺れる鬼ヶ島

洗脳の水で身を妬く蟻地獄

洗脳の水で清めた霊柩車

教祖様達だけに美味なる神の水

ご利益はお金次第のカルト水

乾く喉に流し込まれる壺の水

救済の大道にない甘い水

亀公子の「川柳ひと言」

「正論」10月号を買って読んだ。全日本川柳協会副理事長江畑哲男氏の「朝日川柳はプロバガンダ」という4ページに渡る記事が載っていたからである。

この記事を読んで腹の虫が煮えくり返った。前号の「和」で周立東爺さんが紹介しているように全く川柳人の風上にもおけない人物とお見受けした次第だ。ま

るで鶴彬を貶めた「三味線草」の森鷗外けいぎゅう牛子からでも薫陶を受けたかと思われるほどの物言いだ。7月15日付16日付の朝日新聞朝刊に掲載された西本空人選の川柳を「川柳を装ったプロバガンダで文芸的にも感心できない。」と言いつけているのである。

あの目に余る政治手法で悪名高い安倍前首相が凶弾に倒れたのには幾つもの要因があった。にもかかわらずそのことを棚に上げて安倍氏の突然の悲報とそれへの弔いの心が全くない旨を江畑氏は声高に非難、「入選7句すべてが安倍批判だった。」と西本氏の選をやり玉に上げ、「共產党の機関紙にさえ安倍氏受難を揶揄した句は見つからなかった。」という有様である。つまり彼は安倍氏の「非業の死を嘆き哀しむ」句のないことに怒っているようなのだ。

戦前文芸が国家権力に追隨させられ、それに異議を唱えるもののみならず同調するものまで弾圧の対象になった歴史を彼は忘れたのだろうか。彼からすれば鶴彬などは口に出すのもはばかる存在かもしれないが、川柳の発生源と存在意義を知るものならば高級国民の政治におもねる彼の川柳目線こそ批判されるべきだと思う。ちなみに彼の自薦句を一句「生きているだけで税金奪られそう」。次に鶴彬の句を一句「手と足をもいだ丸太にしてかへし」。歴史に残る句とそうでない句の違いがわかりだ

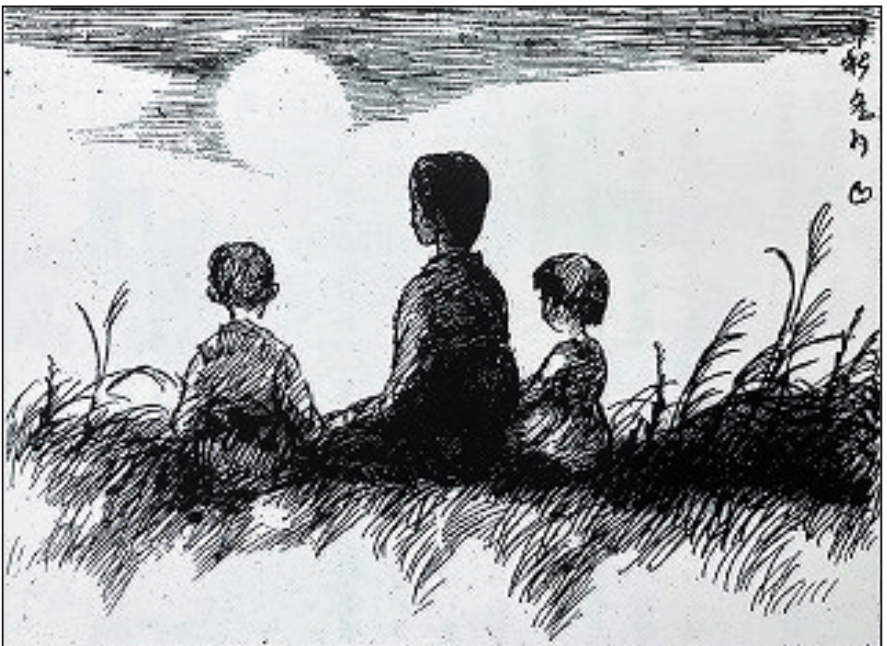
遠田 亀公子

十二・仲秋名月

青山の原で、薄^{すすき}を引いてゐる女があつた。何げなく見て過ぎたが、けふは仲秋名月の宵であつた。着るものも不自由勝ちなバラック生活の中でも、望月^{もちつき}の供物を忘れない人があるのであつた。

今宵^{こよい}、トタン屋根の軒近く生きのびた喜びに心ばかりの手向け^{たむ}をして、明月^{めいげつ}を眺める人もあらう。大空の草の上に我々の祖先^よがしたやうに、原始人の驚きと喜びをもつて、月を見る^{くま}ひともあらう。

この騒ぎに、二日や三日を戸外の土の上で大空をながめながら、夜を送らないものはなかつたであらう。そこで我々は、共同生活の訓練も得たし、創意^{おりにりて}ある簡易生活の暗示をも得たやうに思ふ。また、自然の中に、大地の母の懷に生活する好い經驗^{けいけん}も得た。あまり創意のない、悪い文化^{わるぶんか}の模倣生活の愚かさを醒まし^さてくれた鮎^{てん}でも、この災難は意味があつた。



都新聞

大正十二年九月二十五日 火曜日

戦争前夜の竹下夢二は2020年会報9月号、11月号参照

寺内 撤乗

今ロシアかつて日本で見た景色

.....

ご連絡ありがとうございます。私は昭和五一年生まれで、実際に戦争時代を体験したわけではありません。ですが、鶴彬の研究や顕彰活動を通したり、また本やNHKの戦争特番から学んだり、または戦争時代に生きていた当事者のと会話を通して、今のロシアで起っていることが、日中戦争が始まり鶴彬が逮捕された1937年以降の日本とそっくりだと思い、この句を作りました。

そのような状況下で、多くの国民が戦争を支持している（支持した）ことも共通しています。当時の日本人の多くは、連戦連勝の報道に熱狂し、南京陥落を祝いました。遠くの地で、多くの中国人が虐殺されていた

るということに想像をめぐらし、心を痛めていた鶴彬のような人物は国民の少数派でした。日中戦争が始まった当初は、家族あるいは自分が兵隊として行かない限りは、戦争は他人事のように思っていたのではないのでしょうか。多くの人間が戦争で死のうとも、母国が強国であることを、自らの誇りと思っている人も大多数いたことも、今のロシア人にも当時の日本人にも大勢いる（いた）のではないのでしょうか。

良識、良心のある反戦を訴えた人たちが、国家権力により弾圧されたことも共通しています。鶴彬は反戦川柳を発表したため、逮捕され翌年獄死しました。ロシアにも、生放送中に反戦のテロップを掲げた勇気のある女性もいましたし、侵攻当初は反戦の抗議活動も活発にありましたが、今はロシア政府が監視、弾圧を強めたため、ロシア国内ではそのような反戦活動は広がりを見せていません。良識、良心のある人たちが沈黙することにより、全体主義に拍車がかかり、たとえ国民の生活が苦しくなり、自国の戦死者が大勢出ようとも、引き返すことはますます難しくなり、地獄への

道へと突き進んでいくことになります。

ロシアも第二次世界大戦で多くの犠牲者を出しましたが、残念ながら「ナチスに勝利した」という記憶として刷り込まれています。プーチンはそれを利用して、戦争を正当化し、国民を煽っています。もし多くのロシア人が、かつての日本の失敗を他山の石として学んでいたら、プーチンのようなリーダー選んだり、支持したりしないでしょうし、このような戦争にならなかったのではないかと、個人的には思っています。

日本も他人事ではないと思います。ロシアのウクライナ侵攻により、戦争がリアル化し、政府の改憲や軍拡への動きが活発化し、国民の中にそれを支持、容認する人が増えています。日本の軍拡と改憲は、近隣諸国との緊張を高めることにつながります。また軍拡競争となれば、国民の生活も逼迫します。これは戦前の日本と同じ状況です。

私はそのような日本の現状と未来を危惧しています。私は、今こそ、日本は戦争の反省を深めるときで

時事川柳の未来

あり、同じ過ちを繰り返さないように誓うべきだと思います。そういう思いをこめて、川柳をよみました。長々となりましたが、失礼いたします。 寺内徹兼

前号に続いて、足利尊柳さんから届いた「朝日川柳」について全日本川柳協会副理事長・江畑哲男氏批判の続報です。

「正論10月号」「世界9月号」の解説部分の重複を避け、後半部分の「時事川柳」について書かれた部分を紹介します。（編集子）

尾藤三柳「完全版 時事川柳」を読む

足利 尊柳（足利市）

江畑哲男氏自身が「朝日川柳は川柳ではない、などと川柳を貶める発言をしていることに気づいていない。これは川柳界の危機である。

戦後の大御所の一人故尾藤三柳氏（第十六世尾藤三柳の父）も『時事川柳完全版（新葉館出版）』の中で次の様に述べる。（以下、原著から引用）

「時事川柳がやがては既成川柳の牙城を揺るがし川柳界の中心に座るであろうと想像される。様々な点で両者を比較し、その理由を述べると――。

1 既成川柳の題材が繰り返しに陥って、意匠の取り替えだけに活路を見出しているのに対し、時事的題材は日々生まれ出て、常に新しい。

2 既成川柳が技術的に歩留まりとなり、千篇一律化しているのに対して、時事川柳には独自に開発した批評と諷刺の方法論がある。

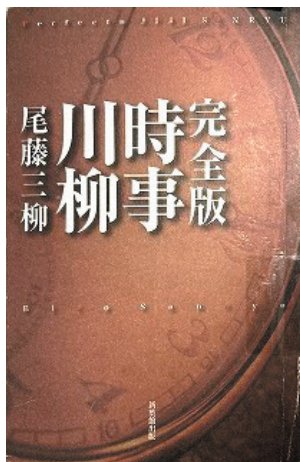
3 既成川柳は目標を持たないが、時事川柳には常に現状を変えようとする使命感がある。

4 既成川柳の曖昧な在り方に対し、時事川柳作家には最小限度の作家意識がある。

5 程度の差こそあれ、既成作家が「伝統」にあぐ

らをかいているのに対し、時事作家は常に挑戦的であることを忘れない。

6 前者は慢性



2012年 新葉館出版

的（衰弱・退嬰）であり、後者は発 展的（進取・積極）である。

7 既成川柳には社会性が無い（個人的趣味）が、時事川柳は社会との連帯（マスコミ関連にレーゾンデートルを求める）。

8 前者の老齡化（参加理由にボケ防止が多い）は著しいが、後者には若年層の参入（やり甲斐）がある。

9 前者には句会運営者がいても指導者がいないが、後者には本質的自由を永遠のテーマとした理論化への努力が進んでいる。

10 両者には、これだけの対極的違いがある。今後の社会に耐えていけるのがどちらかは、おのずからあきらかである。

.....

以上が、尊柳さんから届いた尾藤三柳著「完全版・時事川柳」の紹介です。この著書は川柳の歴史、作句指南など詳細に解説し、諷刺の意味、時事川柳の技法や過去の傑作紹介、時事川柳の可能性についても書かれています。また社会詠と時事川柳を区別し解説しています。（編集子）

完全版 時事川柳 もくじ

著者は尾藤三柳氏。川柳関連の著書多数

第一章 近代川柳ルネサンス

明治の川柳復興／投句欄から結社へ／戦後とへ／みつり時事川柳

第二章 時事川柳の発生と変遷

「川柳のあらまし／時事狂句から時事川柳へ／時事川柳事始め／その変遷と特性

第三章 作句の基本

川柳の構成／推敲のプロセス／自作のチェックポイント

第四章 時事川柳の技法

「時事」をどうとらえるか／作者の態度を明確に／表現技法

第五章 時事川柳・一問一答

第六章 平成時事川柳傑作選

第七章 川柳作家が選ぶ「時事」の一句

あとがき 時事川柳の可能性

令和四年度 第27回 鶴彬川柳大賞 かほく市川柳協会・鶴彬を顕彰する会

鶴彬大賞 ロシア語にして九条を送りたい 中川 晴海（山形県山形市）

優秀賞 引き金の指をあなたの子が見てる 田村 富夫（宮城県仙台市）

優秀賞 繋ぐため抱くためにある手の退化 中西 照夫（福岡県北九州市）

優秀賞 反戦をさけぶ魂呼び戻す 坂本 弘子（福岡県福岡市）

佳作賞 民意まで辺野古の海に埋めきれず 中川 晴海（山形県山形市）

佳作賞 おもちや箱銃と戦車は捨てました 中農恵美子（石川県津幡町）

佳作賞 ミサイルが花火に見える椅子がある 仁部 四郎（佐賀県唐津市）

佳作賞 白票を透かせば見える意思表示 森清 泰範（富山県砺波市）

佳作賞 正論を置き去りにして多数決 小野小野三（岐阜県岐阜市）

選者

赤池 加久（石選者川県川柳協会会長）
岩佐 ダン吉（大阪・あかつき川柳会会長）
植竹 団扇（東京・川柳成増吟社会長）

佐藤 岳俊（岩手県川柳連盟顧問）
高鶴 礼子（埼玉・「ノエマ・ノエス」主宰）
遠田 亀公子（かほく市川柳会幹事）

編集後記を兼ねて

▼鶴彬川柳大賞が
決まりました。大

賞に選ばれた句を表紙に紹介。15頁に入選句
掲載。▼「朝日川柳」の炎上はネットでは醒
めたようですが、肝心の川柳界の反応がイマ
イチです。▼亀公子さんが「川柳ひと言」で
厳しく批判をしています。鶴彬を特高警察に
密告した「三味線草」を紹介しました。▼
尾藤三柳著「完全版時事川柳」を入手。社
「鶴彬を顕彰する会」の通信「はばたき」の購読
をおすすめします。年購読／2000円です。

会詠と時事川柳の混同を再確認。以前投稿
したことがありますでしたが、鶴彬の川柳は戦
争や社会を描いています。時事川柳はほと
んどありません。鶴彬の川柳や時事川柳を
理解する視点です。▼私事です。9月末、
北海道白老を訪ねました。明治時代高松出
身の曾祖父が発見・開発したという沖野温
泉に入るのが第一の目的でしたが、警察か
ら危険だと止められました。白老町役場や
陣屋資料館に寄り、発見がありました。詳
細は後日、別冊で報告したい。(周)

10月例会ご案内 (毎月第4木曜日)

◆例会 10月27日(木) ◆投稿×切：24日(月)

◆課題「残」 3句以内 ◆自由吟：5句以内

◆自選吟、連作、エッセイ、川柳論などもよろしく。

◆オミクロン株警戒で例会は誌上となります。

●投稿FAX (076) 254-0762

●メールアドレスは下段へ。

郵送は
下段住所へ。

「和川柳社」会報
会員募集しています！

同人：4000円 / 年
投句 / 購読：2000円 / 年

振込は下記へ。

和川柳社 〒920-0335 金沢市金石東2丁目15-30 (3-2) (渡辺 寛)

電話 FAX：076-254-0762 PC-mail：kananabe@popolo.org

携帯：090-9445-1302 携帯 mail：kan-wata@i.softbank.jp

振込先：北國銀行中央市場支店 #191 普通 640「和川柳社」